

看護実践・キャリア 支援センター通信

Vol.33

2026年
4月

目次

	頁		頁
・AYA 世代のがん患者へのケア ～経験を持ち寄り、学び合う時間～	1	・看護学生へのキャリアデザインプログラム(3年生)	3
・エドゥケーター育成プログラム受講者主催研修	1	・エドゥケーター育成プログラム伝達講習・修了式	3
・復職支援プログラム	2	・雑誌「Nursing Business」に当院新人教育体制の 事例を投稿	3
・家族の力を見極める「家族看護」	2	・令和8年度 地域貢献事業研修案内	4

12月 地域貢献事業

AYA 世代のがん患者へのケア

～経験を持ち寄り、
学び合う時間～



講師

中濱 絢 CNS

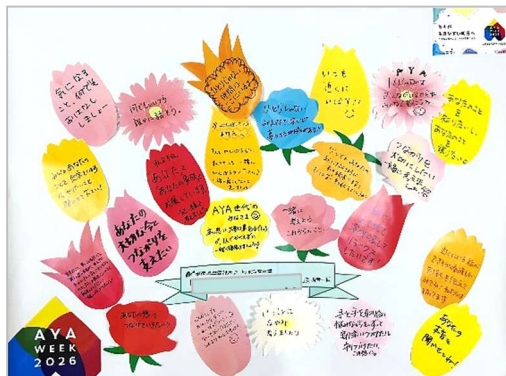
12月13日、当大学附属病院がん専門看護師を講師に AYA 世代のがん患者へのケアの研修を行い、20名の参加がありました。AYA 世代とは15～39歳という社会的変化が大きい世代であり、がんという病気による影響も世代特有のものがあります。治療・療養に関わらず患者のライフステージに寄り添うことが何よりも必要です。講義では世代特有の配慮や世代や病気に関わらず存在する悩みへの対応、特に患者本人・家族とのコミュニケーションの重要性を学びました。

AYA 世代患者への対応を考えるグループワークでも活発な意見が出ていました。

参加者で作成した AYA 世代のがん患者への応援フラッグは、公式 HP の近畿部門に掲載されました。



必要なサポートを考える



2026AYA WEEK への応援フラッグ

1月

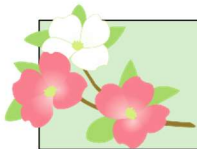
看護基礎教育事業・看護実践教育 エドゥケーター育成プログラム受講者主催研修

1月13日、今年度のエドゥケーター育成プログラムの受講者が1年の学びを活かし企画した研修「～みんなの看護にエールを～自分の看護を見つめ直す一日」を行い、27名が参加しました。



リフレクションで見えなかった看護に気づく

最初にリフレクションの定義と聞く際の注意点を学び、グループで「これが看護だ!」と思ったことを語り合い、お互いにポジティブにフィードバックするリフレクションをしました。研修後、自分の看護を見つめ直し、看護を改めて好きになった、自部署でもリフレクションをしたいという感想が多く聞かれました。



2月

看護基礎教育・看護実践教育事業 復職支援プログラム



情報を得て、復職前の不安を軽減

2月3日、4・5月以降に産休・育休から復帰する附属病院の看護職を対象に情報を提供する事業をオンラインで行い、15名の参加がありました。

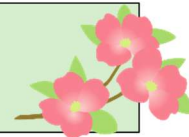
人事課からは子育てに関する色々な支援制度について、人事担当副部長からは配属先の決定の流れについて説明がありました。仕事に復帰した育休の先輩2名からはどう仕事と家庭のバランスをとったか等具体的な話を聞きました。

参加者からはオンラインで自宅から子供を抱いて参加できたり、子どものお昼寝時間だったりした

ので参加しやすかった、育所が決まり復帰も決まった時期なので休暇の取り方など情報が得られてよかったという意見が出ていました。オンラインでの開催でしたが質問も活発に出て、皆さんの復職に向けての心の準備が更に整ったようでした。

2月

地域貢献事業 家族の力を見極める「家族看護」



2月11日、奈良県立医科大学看護学科升田教授と高知県立大学看護学科畠山卓也准教授を講師に、家族の力を見極める「家族看護」について学びました。この研修には他病院だけでなく訪問看護ステーション、老健、地域包括センター、老人ホームと、様々な勤務の方を含め21名の参加がありました。

講義では家族が多様化した現在の状況と家族の機能、ジェノグラムとその利用法等について学びました。続く事例検討の演習では、ある家族を想定して対応を検討しました。参加者には

それぞれの経験を活かして考えることのできる時間となったようです。またジェノグラムを元に患者の家庭を見ることで、誰をキーマンとしてどう関わっていくかが分かりやすくなるということにも気づけました。参加者の勤務先が多様であったことから様々な意見を聞くことができ、満足度の高い研修となりました。



奈良県立医科大学
基礎看護学
升田茂章教授



高知県立大学
精神看護学
畠山卓也准教授

講師



「家族」を取り巻く現状を知る



ジェノグラムで患者を取り巻く環境を整理する

3月 看護基礎教育・看護実践教育事業 看護学生へのキャリアデザインプログラム(3年生対象)

3月6日、就職活動を目前にした3年生を対象に「医大で働いてどういう感じ?」という現場の看護師との交流会を行いました。

交流会に先立ち、看護学科の升田茂章教授から就職活動に向けた「社会人としての基礎知識」と看護実践・キャリア支援センターの吉川紀子師長から「奈医大附属病院の新人看護師の教育体制」の説明を行いました。その後の交流会では、5つのグループに分かれ、10分毎に異なる看護師から話を聞きました。NICU、精神科病棟、手術部等、普段実習であまり行かない部署の看護師から、業務だけでなく、就職先を決めた理由、現実と理想のギャップ、悩みや課題への対応等、本音や現場のリアルな話を聞くことができました。

多様な看護師からの「医大の看護職として働く」具体的な話を聞いたことで、自分が働くイメージをつかみやすくなったようです。また、資格取得や産休から復職した人など、様々な働き方から、何を大切にして就職先を決めたらいいのかを考えるヒントを得られたようです。



就職活動の注意点を確認



看護職の生の声から「働く」現実を感じる

3月 看護基礎教育・看護実践教育事業 エドゥケーター育成プログラム伝達講習・修了式



今年度は3名が修了しました

3月18日、今年度のエドゥケーター育成プログラムの受講者が看護部の皆さんに対して、この1年間で学んだ“研修企画の難しさ”“視点の転換”“省察”の重要性について発表しました。

発表に引き続き、同プログラムを修了した3名に対し、修了証が授与されました。

今後も今回得た知識・経験を活かして、指導者としての活躍を期待しています。

3月 広報・その他 雑誌「Nursing Business」に当院新人教育体制の事例を投稿

看護実践・キャリア支援センターは奈良県立医科大学附属病院の看護職の教育を担っています。その中で新人教育は、その成長を支えるためにセンター機能を軸に「協働・連携・教育力の向上」を3本の柱とした体制を構築しています。

この度その体制を、雑誌「Nursing Business」に紹介する機会を得ることができました。2026年3月号の特集「新人教育は組織で支える！教育担当者が輝く協働の仕組みづくり」で「みんなで育てる新人看護師 - 協働と支援の教育体制 -」(執筆：当センター 教育サポーター 鈴木康美・同主任 阪本芙美)として事例が掲載されています。ぜひご一読ください。



公立大学法人奈良県立医科大学

看護実践キャリア・支援センター

地域貢献事業 研修案内

令和8年度

ホームページ
QRコード



平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本学では看護実践・キャリア支援センター企画・運営による研修会を開催してまいりました。

新規に、「最新のエビデンスに基づいた日常生活援助シリーズ」を開講します。初回となる今年度は、最近話題になっている睡眠ケアに特化した内容です。

各研修の詳細は、右上QRコードからホームページで随時ご確認ください。

奈良県内で勤務している看護職者対象

NEW	リフレクション	令和8年	日々の看護実践を語り、聴き合う～リフレクション～		受講料 1,000円	定員 40人
		6月27日(土) 13:30~16:30 申込期間:4月20日~6月19日	講師 奈良県立医科大学 看護実践・キャリア支援センター 教育サポーター 鈴木 康美	内容 日々実践している地域、施設、病院等の看護をみんなで語り、他者と共有していませんか。新たな発見があり、看護が深まり、楽しくなります。		
NEW	日常生活援助	令和8年	最新の知見から患者と看護師の睡眠問題を考えてみませんか		受講料 1,000円	定員 50人
		7月11日(土) 14:00~16:30 申込期間:5月11日~7月3日	講師 奈良県立医科大学 医学部看護学科 臨床病態医学講座 教授 山内 基雄	内容 最新の日常生活援助を学ぶシリーズ。今年度は「睡眠ケア」です。患者さんにも、看護職にとっても良い睡眠を考えてみませんか。		
	認知症看護	令和8年	ケアされる人もケアする人も楽になる認知症看護 ～拘束に頼らないケアのヒント～		受講料 2,000円	定員 40人
		9月12日(土) 10:00~16:00 申込期間:7月13日~9月4日	講師 奈良県立医科大学附属病院 認知症看護CN 池内 勝継 認知症看護CN 松田 恵美	内容 この研修では絶対的な正解や魔法のような方法ではなく、大切にしなければならぬ看護の「基本」から、楽になる見方・考え方のヒントをみつけていきます。		
	がん看護	令和8年	がん患者の生活を支える看護		受講料 1,000円	定員 40人
		11月14日(土) 13:30~16:30 申込期間:9月14日~11月6日	講師 奈良県立医科大学附属病院 がん看護専門看護師 中濱 絢	内容 がんとともに生きる人の生活に目を向け、治療と生活が重なり合う場面において看護師としてどのような関わりができるかを共に、考えましょう。		
	家族看護	令和9年	家族の力を見極め、支援を考える 家族看護		受講料 1,000円	定員 40人
		2月 予定 午前 申込期間:未定	講師 奈良県立医科大学医学部看護学科 実践基礎看護学 教授 升田 茂章 高知県立大学看護学部 精神看護学 准教授 精神看護CNS 畠山 卓也	内容 「家族」に対する学術的な視点を得るとともに、医療機関・訪看・老健等様々な場所での家族への支援の経験を共有し、問題への理解や解決の糸口をつかみます。		

会場 <9.12開催・11.14開催> 奈良県立医科大学 四条キャンパス スキルラボ棟3階研修室1
 <6.27開催・7.11開催・R9.2.予定開催> 奈良県立医科大学 畝傍山キャンパス 講義棟204
 会場が変更される場合は奈良医大HPIに掲載し、申込者にもお知らせいたします。

申込方法 下記の①～③のいずれかの方法でお申込みください。申込期間以外の申込は無効
 ① 右上QRコードからサイトに入り、申込用フォームに入力
 ② 裏面の申込用紙に記載し、FAX:0744-23-8067 に送信
 ③ 裏面の申込用紙に記載し、スキャンまたは撮影したデータをメールアドレス kangokenshu@narmed-u.ac.jp に添付し送信



※注意 最新情報については、奈良県立医科大学ホームページでご確認ください。